

守田市長定例記者会見の概要

平成 30 年 2 月 21 日（水）
於：宇城市役所 2 階庁議室

《冒頭発言》

こんにちは。ようこそ宇城市役所においでいただきました。

本年、第 1 回目の定例記者会見を開催させていただきます。

一昨日から平成 30 年第 1 回市議会定例会が開催されました。本日の会見では、本定例会に上程した平成 29 年度補正予算及び平成 30 年度当初予算のうち、重点施策を中心に発表させていただきます。

また、平成 28 年 4 月の熊本地震からまもなく 2 年を迎えます。本市では、これまで地震からの復旧作業を中心に取り組んでまいりましたが、いよいよ創造的復興へ向けた新たなステージに移ってまいりますので、これらの取組も併せて発表させていただきます。どうぞ、よろしくごお願い申し上げます。

《報道発表》

私から説明させていただく具体的な発表案件は全部で 7 件ございます。

- ① 熊本地震からの復興に向けた新たな取組
- ② 地方創生事業の新たな展開
- ③ ブランド復活に向けた地域間交流施設（金桁温泉）の整備
- ④ 「さしより野菜・たっぷり野菜」事業の取組
- ⑤ 「2018 フラワーフェスタ」の開催
- ⑥ 宇城市議会議員一般選挙の実施
- ⑦ 三角西港内飲食店における経営者募集の結果

これらにつきまして、順番に発表させていただきます。

【熊本地震からの復興に向けた新たな取組】

まず初めに、「熊本地震からの復興に向けた新たな取組」についてご説明いた

します。

本市では、熊本地震からの復旧に向けて、これまで熊本地震復興基金等を活用した応急仮設住宅の設置、被災家屋等の撤去、住宅耐震化支援や、条例等に基づく災害見舞金・義援金、復興券による支援を行ってきたところです。

熊本地震からまもなく2年を迎えますが、平成30年度は復旧から、いよいよ創造的復興に向け、熊本地震復興基金等を活用しながら、新たな取組を推進していきます。

具体的な取組のうち主なものを紹介します。

本市では、本年3月までに「復興まちづくり計画」を策定します。これは、復興後のまちづくりの姿のうち、特にハード面での短期的・重点的な方向性を定めたものです。

次に、熊本地震により被災された方々の一日も早い住まい再建のため、昨年度から引き続き、100戸の災害公営住宅の建設を促進し、本年4月から豊野町響原（ひびきがはら）地区、不知火町御領地区の入居募集の受付を開始します。また、平成30年度は新たに100戸の建設に着手する予定です。

昨年9月の記者会見で発表しました「防災コミュニティ施設」6箇所のうち平成30年度には、松橋地区2箇所、豊野地区1箇所を整備します。また、各地区に配置計画している防災倉庫5箇所と、防災井戸7箇所のうち4箇所を平成30年度内に整備予定です。

防災行政無線のデジタル化移行については、本市全域をカバーしている防災行政無線のうち、不知火町、小川町のアナログ方式をデジタル化へと切り替えを実施する予定です。

最後に、熊本地震における教訓を踏まえ、防災拠点施設の整備、また、地域防災力を強化するために自助・共助の精神に基づき、地域一体となった防災訓練の実施や情報の収集伝達体制の整備など住民に対し平時の取り組みを進め、自主防災組織の整備と育成を推進するなど、熊本県地域防災計画との整合性を図り、地域防災計画を大幅に見直します。

なお、復興まちづくり計画の策定を除く、これらの取組は、2月議会に関連予算を上程中であり、議決されたのち、平成30年4月以降速やかに着手する予定です。

これらの取組の詳細については、報道資料に記載しています各担当部署へお問い合わせください。

【地方創生事業の新たな取組】

2件目でございます。

「地方創生事業の新たな展開」について説明いたします。

本市では、人口減少時代に対応するため、平成 28 年 1 月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、国の地方創生推進交付金等を活用し、地方創生事業を進めています。

本日は地方創生推進交付金を使った平成 30 年度の具体的な取組について、3 点紹介します。

1 点目は「雇用創出に向けた域内経済循環促進事業」です。

この事業は、大学や金融機関などと連携し、企業ニーズにあった支援を行い、地場企業の稼ぐ力を高めることを目指すものです。

具体的な事業概要は、別紙 1 の事業紹介シートをご覧ください。2 の事業内容のところですが、

- ・金融機関、シンクタンク、産業支援機関等との連携体制の構築事業
- ・民間企業や大学と連携した I T 人材育成や課題解決型の企業コラボ事業の実施
- ・ I T ベンチャー等と連携した若者の移住定住や I T 企業誘致などを行ってまいります。

また、その下に（※）と記載をしておりますが、全国的な先進事例であります、日南市油津商店街に進出した東京の I T ベンチャー「ポート(株)」等の支援を受けながら、新たな取組も検討しています。

2 点目は、「DMO と地域商社による雇用創出実現事業」です。

こちらの事業概要は、別紙 2 の事業紹介シートをご覧ください。

この事業は、主に観光分野において地域全体で収益を上げる仕組みづくりを構築するため、「宇城市版 DMO」等の創設を見据え、現在取り組んでいる「三角地区マーケティング委員会」の活動成果を活かした、新たな旅行体験プログラムやイベントプロモーションなどを行ってまいります。

最後の 3 点目は「地域ごとの将来ビジョン及び地域活動アクションプランの策定」です。こちらの事業概要は、別紙 3 の事業紹介シートをご覧ください。

この事業は、地域の在り方を住民全体で考える事業として平成 28 年度にモデル地区に選定した不知火町松合地区でのワークショップなどのこれまでの取組を踏まえ、30 年度は民間バイザーを派遣して地域活動に取り組む団体の養成をはじめ、古民家カフェ、農家民泊、体験ツアーなどの具体的な取組をさらに進めてまいります。

以上、平成 30 年度の本市の地方創生事業の取組となります。

なお、この取組の詳細については、それぞれ担当部署を報道資料に記載しておりますのでお問い合わせください。

【ブランド復活に向けた地域間交流施設（金桁温泉）の整備】

3件目でございます。

宇城市三角町中村（金桁地区）にある三角老人福祉センター跡地に、130年を超える歴史を誇る「金桁温泉」のブランド復活を目指し、温泉施設を整備します。

この施設は金桁特有の泉質（炭酸泉）を活かしたもので、観光拠点と地域コミュニティの場の機能を有するよう開放的な憩い場、えんがわ、足湯等を整備する予定です。

また、三角町を連想させる三角（さんかく）の屋根を連続した特色のある外観デザインで、温かみや優しさを醸（かも）し出し周辺の景観にも調和するよう配慮しています。

完成予想図は別紙のとおりで、平成31年度中の開業を目途に進めており、金桁温泉の復活により、更なる三角町の認知度向上を図るとともに、宇城市を訪れる観光客の回遊性を高め、ひいては滞在型観光地の形成に寄与するものと考えております。

本施設の詳細については、三角支所経済課または企画部まちづくり観光課までお問い合わせください。

【「さしより野菜・たっぷり野菜」事業の取組】

4件目でございます。

「さしより野菜・たっぷり野菜」事業の取組についてご説明します。

市で実施している特定健診の結果では、メタボリックシンドロームと糖尿病型の該当者の割合が年々増加傾向にあります。また、今年度、県が調査した健康・食生活に関する調査によると、宇城市民の野菜を食べる量が県平均を下回っていることが分かりました。

そのため、食事において「野菜から食べる」といった簡単な手法により、食後の血糖値の急上昇を防ぎ、動脈硬化や糖尿病などの予防につながる点に着目し、市民の健康的な生活習慣の改善に向け、3月から「さしより野菜・たっぷり野菜」事業をスタートすることとしました。

主な取組は、

- ・さしより野菜協力店（モデル店）の募集
- ・さしより野菜キャンペーンの実施
- ・「ベジ1（ワン）コンテスト in うき」の開催
- ・うきし健康マイレージ制度

などを、食生活改善推進員・健康づくり推進員等に加え、飲食店・野菜販売店等のご協力を得ながら進めてまいります。

なお、本事業の詳細については、健康福祉部健康づくり推進課までお問合せください。

【「2018宇城市フラワーフェスタ」を開催】

5件目でございます。

4月14日(土)・15日(日)の2日間、熊本県博物館ネットワークセンター「多目的広場」において、「2018宇城市フラワーフェスタ」を開催します。

本フェスタは平成13年から毎年、松橋町で開催しており、今年で17回目を迎えます。平成24年には「くまもと観光大賞」を受賞した本市最大の観光イベントです。

今年は、“花と遊び場”をテーマに数々の手作りの「花のオブジェ」や「寄せ植え体験」など花に関する催しのほか、県内の「ゆるキャラ大集合」など多彩なイベントを計画しています。

4月14日と15日の両日は、宇城市役所及び県宇城地域振興局の駐車場を開放し、会場までは無料シャトルバスを運行します。

例年以上に充実した内容となっておりますので、花と緑の憩いの広場への皆様のお越しをお待ちしています。

もう一つイベントのPRをさせていただきます。

県内外から往年の名車が集うオールドカーフェスティバルが、今年も4月29日の「昭和の日」に三角東港で開催されます。名車に触れながらオールドカーの良さを体感できますので、こちらも是非、お越しください。

本イベントの詳細については、企画部まちづくり観光課にお問い合わせください。

【宇城市議会議員一般選挙の実施】

6件目でございます。

平成29年12月1日召集の宇城市選挙管理委員会において宇城市議会議員一般選挙の告示日及び投票日が決定しました。

告示日は、平成30年4月15日で、投票日は、1週間後の4月22日です。

この選挙は、将来の宇城市を築く上で重要な役割を担うものですので多くの人に投票に行ってもらいたいと思います。

なお、詳細につきましては、今後、宇城市選挙管理委員会において決定されます。詳しくは、選挙管理委員会にお問い合わせください。

【三角西港内飲食店における経営者公募の結果】

最後でございます。

三角西港内飲食店における経営者の公募結果についてお知らせします。

「旧三角海運倉庫（和蘭館）」及び「浦島屋」については、透明性・公平性の確保と観光客の満足度をより高められるような事業者を選定するため、昨年8月から公募型のプロポーザルを実施したところです。

旧三角海運倉庫（和蘭館）は、指定管理者である三角町振興(株)が公募したところ、県内から現在の入居者を含め3社の応募があり、審査会において審査した結果、(有)桜屋（本社：宇土市）を平成30年4月1日からの運営候補者として決定しました。

一方、「浦島屋」については、県が所有する施設であるため、県と市が共同で公募を行いましたが、応募がなかったことから、今後は県との協議の上、地域振興のための活用を検討してまいります。

この公募結果の詳細については、企画部まちづくり観光課までお問い合わせください。

私からの発表は以上でございます。